

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 164 事業名 建設リサイクル指導事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		清掃総務費	
	大事業		清掃総務事業	
事項		産業廃棄物業者指導事業		

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
取組	3	産業廃棄物の適正処理・適正管理

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	産業廃棄物課	北川 善勝 (435-1221)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）		事業内容					
事業概要	建設リサイクル法に基づくリサイクルの推進		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）に基づく事務を行い、特定の建設資材について、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理の推進を図る。 ・建設リサイクル法に基づく届出受理及び審査 ・現場確認及び指導啓発				
	実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		届出の受理及び審査 現場確認及び指導啓発	届出の受理及び審査 現場確認及び指導啓発	届出の受理及び審査 現場確認及び指導啓発	届出の受理及び審査 現場確認及び指導啓発	届出の受理及び審査 現場確認及び指導啓発	

2 事業コスト

事業費 千円			平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費											
	伸び率 (%)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	人件費	常勤職員	12,149	13,930	13,930	14,096	14,096	13,807	7,552			7,552
		非常勤職員				365	365	521	1,413			1,413
		小計	12,149	13,930	13,930	14,461	14,461	14,328	8,965			8,965
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)												
所要人数	常勤職員		1.82	1.82	1.84	1.84	1.83	1			1	
	非常勤職員				0.25	0.25	0.25	0.56			0.56	

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	建設リサイクル法に基づく届出の受理					年度目標値				
						実績値	1,149	1,181	1,122	
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度				
	特定建設資材のリサイクル推進の指導及び啓発を行う					年度目標値				
					実績値	46	66	132		
					年度別達成度					
成果指標	苦情対応率 (分母：建設リサイクル法による工事及び施工業者に対する苦情数 分子：苦情に対応した数)					年度目標値	100	100	100	
						実績値	100	100	100	
	単位	%	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
						年度目標値				
						実績値				
					年度別達成度					
					年度目標値					
					実績値					
					年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	この業務は法定受託事務であり、建設リサイクル法に基づき適正に行っています。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	